

(別紙様式 = 小学校用)

都道府県番号	
都道府県名	東京都

【 】
*重点をおいた観点にチェックすること

学校名及び規模

学校名	東京都文京区立窪町小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	3	3	4	3	0	20	27
児童数	118	129	116	115	122	106	0	706	

研究の概要

(1) 研究主題

「確かな学びの力」が育つ自己学習力・自己評価力の育成
—— 自他のよさを生かし、共に生きる子 ——

(2) 研究主題設定の趣旨

平成14年から自ら学び自ら考える力など、「生きる力」を育む学習指導要領が全面実施された。それは、小学校教育においては、生涯学習の礎を築くことであり、一人一人の子どもに「確かな学びの力」を身に付けていくことである。

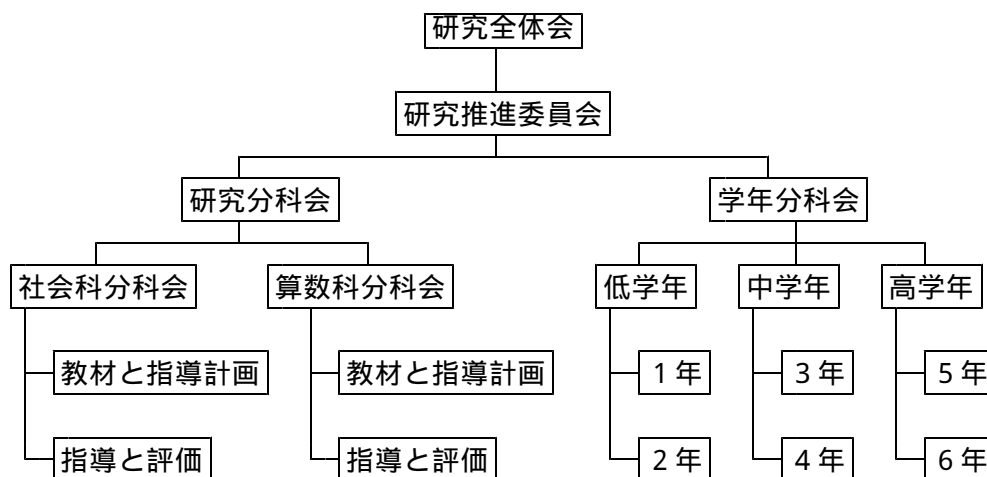
研究主題の「確かな学びの力」を育むには、子どもが自ら学習問題や課題を見付けたり設定したりして、そのよりよい解決を目指し、学習の過程においては自らの学びを評価しながら意欲的・継続的に追究し、知識や技能などを身に付けていく一連の学びの過程が大切であると考えた。

そのためには、一人一人の子どもの学習状況を的確に見取りながら、きめ細かな指導と評価を意図的・計画的・継続的に行うとともに、自己学習力と自己評価力を育成していくことが必要である。この自己学習力と自己評価力は互いに関連し合いながら高まっていくものである。

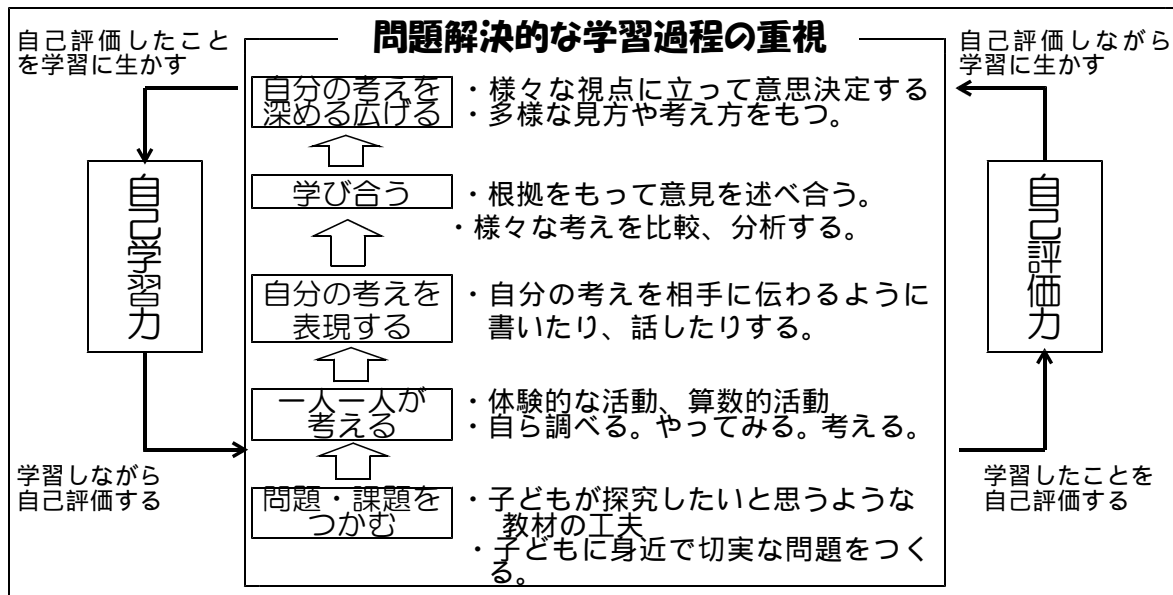
また、副主題の「自他のよさを生かし、共に生きる子」は、子どもが学び合いを通して、自他の様々よさに気付き、互いの人格や立場を生かしながら生活していこうとする子どもの姿である。

研究の概要 (選択した観点を中心に記述すること)

(1) 研究推進体制の工夫



(2) 研究の実際



指導に生かす評価の工夫

- ・きめ細かな支援をするために1時間に1～2項目の重点的評価
- ・支援A（発展的支援）と支援B（補充的支援）の設定
- ・自己評価に対する支援の工夫

社会科では

問題解決的な学習を進めていく中で、自ら考え、根拠をもって意見を述べ合う学習を重視する。学んだことを広い視野から考えたり意味付けたりする意思決定の場を取り入れる。

6年「3人の武将と全国統一」単元指導計画

	問題解決的な学習過程	指導と評価の一体化
つかむ 2時間	<p>長篠の戦いの図や年表、ビデオをもとに信長、秀吉、家康によって戦国の世が統一された様子をつかむ。 自己学習力・学習の見通しをもつ力</p> <p>秀吉が行った検地や刀狩り、朝鮮侵略の内容を知り、「秀吉がよいリーダーだったか？」について自分の課題を持つ。 自己学習力・自分で問題を見つける力・学習計画を立てる力</p>	<p>3人の武将が戦乱の世の中を統一していった過程、外国との関係をもつ。 【関】(ワークシート)</p> <p>B 天下統一されていく様子について関心を高められるように、絵図の3人の位置から当時の3人の関係を予想させたり、エピソードを紹介する。 A 秀吉に対するイメージをそれぞれがもてるように秀吉についてのビデオを見せる。</p>
調べる 2時間	<p>「秀吉はよいリーダーだったか？」について、立場をはっきりさせて自分の考えの根拠となる事実を調べる。 自己学習力・自分の問題を粘り強く追究する力</p> <p style="text-align: center;">↓ ↑</p> <p>調べた事実が自分の考えの根拠となるか、調べ方が適切であったか振り返る。 自己評価力・学習問題に対して学習内容を振り返る力・学習問題に対して学習方</p>	<p>秀吉の行動や考え、業績などを意欲的に調べる。 【思】(観察 ワークシート)</p> <p>B 武士、農民、信長、家康など自分の決めた立場についての考えをもてるようにワークシートを工夫させる。 A 自己評価しながら学習が進めるように助言する。</p>

	法を振り返る力	
まとめる2時間	自分の考えを整理して、友達に分かりやすく伝えるための資料を作る。 自己学習力・自分の考えを表現する力	秀吉の考え方や業績をノートや資料づくりを通してまとめる。【技】(ノート) B これまでの発表経験から、どんな資料がふさわしいか考えられるようにする。
	「秀吉はよいリーダーだったか」というテーマで、意見交換会を開く。	A させる。伝えたいことに合った表現の仕方が考えさせる。明らかにして積極的に自分の考えを発表する。【思】(ワークシート)
	自己学習力・自分の考えを表現する力 ・公正に判断する力 意見交換会で友達の考えを聞いて意思決定をする。	B 考えを明らかにする際には、その根拠を明らかにするよう助言する。その根拠を戦乱の世が統一されていった様子を、秀吉の業績をもとに考える。【思】(観察、ワークシート)
	自己学習力・学び合いから自分の考えを深める力に気付き、自己評価力・他のよさに気付き、自分の学習へ生かす力	B 立場を明確にして意見交換をすることで、しっかりと意思決定できるようにする。
	公民的資質の基礎	

算数科では

算数の内容にあった学習形態の工夫

4年「面積」単元の指導の構想

1時
学級
単純2分割

広さくらべ 陣取りゲーム
(任意単位でくらべる)

2時
学級

広さくらべ
(普遍単位の導入)

3時～5時
学級

面積の意味と単位
長方形と正方形の面積

自己評価
コース選択

6～8時
習熟度別
少人数指導

複合図形の面積
周りの長さとの関係

<p>どんどんコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームで自分がとった陣地の面積を求め、求め方の一般化を図る。 ・周りの長さとの関係を自分なりの方法で調べる。 	<p>じっくりコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームで自分がとった陣地を求めるために、ステップを踏み簡単な複合図形の求め方を学習する。 ・周りの長さとの関係を教具を使い調べる。
---	--

9～11時
学級

大きな面積の単位

12時
課題別
少人数指導

身近な大きな四角形の面積を求める

<p>体育館コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールのコートなどの面積を求める。 	<p>教育の森コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールやサッカーのコートをかいて面積を求める。
---	--

13時
学級

まとめ

(3) 研究の成果と課題

成果

- ・学習内容と児童の実態から学習形態を考えた結果、コース別学習（少人数指導）の効果的な在り方が明らかになった。
- ・評価規準を通過した児童に対する発展的支援（支援A）とまだ通過していない児童に対する補充的支援（支援B）を計画し授業を行ったことで、一人一人の児童の力をより伸ばすことができた。

課題

- ・補充的な教材と発展的な教材の充実
- ・学習内容に応じた学習形態の工夫を取り入れた年間計画の作成

(4) 研究成果の普及の方策

研究会の開催（全国小学校社会科研究協議会において）

日時 平成15年10月31日(金)

場所 窪町小学校

主題 「確かな学びの力」が育つ自己学習力・自己評価力の育成
- 自他のよさを生かし、共に生きる子 -

対象 全国小学校教員

中間報告会の開催予定

日時 平成16年3月1日

場所 窪町小学校

対象 保護者・地域・学校関係者

内容 公開授業5年「円周と円の面積」コース別学習

講演会「

講師 筑波大学附属小学校 坪田耕三先生

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無

【特色ある取組事例としての紹介したいポイント（都道府県教育委員会記入）】